

斑点米カメムシ類

厳重警戒

水稻の重要な害虫である斑点米カメムシ類。
登熟期に稻穂（穀）が吸汁されると斑点米や不稔を生じ、
多発した場合には収量・品質に大きく影響します。

主に畦畔や農道に生えたイネ科雑草の穂などをエサとして
生息しており、出穂期以降に成虫が水田内に侵入します。



▲カメムシによる斑点米

水稻で問題になる主な斑点米カメムシ類

カメムシ科	ホソヘリカメムシ科	ヘルカメムシ科	カスミカメムシ科
イネカメムシ	ミナミアオカメムシ	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ
体長：12～13mm 食性：イネ科 発生：1回/年、成虫越冬	体長：13～14mm 食性：広食性 発生：3～4回/年、成虫越冬	体長：15～17mm 食性：イネ科 発生：2～3回/年、成虫越冬	体長：8.5～11mm 食性：イネ科、タデ類 発生：2～3回/年、成虫越冬
体長：4.6～6mm 食性：イネ科、カヤツリグサ科 発生：4～5回/年、卵越冬			

効果的な防除対策

幼穂形成期 穂ばらみ期 出穂期

登熟期

乳熟期 糜熟期 黄熟期 完熟期

アカスジカスミカメ

イネカメムシ

ホソハリカメムシ

クモヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ

稲の生育ステージ
・
カメムシ発生時期



水田周辺の除草

①出穂2～3週間前

②出穂期

畦畔雑草の除草が有効ですが、
出穂期直前の除草は斑点米カメムシ類を
水田に追い込むことになるため控えましょう！

薬剤
防除

①穂揃期
(7～8割出穂)

②乳熟初期
(出穂7～10日後)

①は不稔被害の防止・低減のため、
②は斑点米の防止・低減のための防除です。



実際の発生時期や散布適期は、地域や年次によって変動する場合があります。地域の生育ステージや発生状況、病害虫防除所等関係機関の指導を確認ください。



NICHINO
日本農薬株式会社

水稻のカメムシ類 防除おすすめ薬剤

(2024年7月時点の登録内容を基に作成したものです)
 *1：作物名「稲」の使用方法「無人航空機による散布」があるもの
 *2：「稻発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載があるもの

剤型	薬剤		対象病害虫名・使用目的										適用場所 使用方法					
	有効成分[上段は殺虫剤分類、下段は殺菌剤分類]		カメムシ類	ウンカ類	ツマグロヨコバイ	ニカメイチュウ	イナゴ類	イネツトムシ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	紋枯病	いもち病	稻こうじ病	登熟歩合向上	休耕田登録	無人航空機散布 *1	WCS *2	
液剤・ フロアブル	エクシードフロアブル スルホキサフル[4C]	●	●	●			●									●	●	●
	日農エルサン乳剤 PAP[1B]	●	● ヒメ トビ ウンカ		●	●					●							
	オーケストラスタークルエアー ジノテフラン[4A],ベンズビリモキサン[-]	●	●														●	●
	日農スマチオン乳剤 MEP[1B]	●	● ヒメ トビ ウンカ			●		●		●						●	●	●
	ビームエイトエクシードゾル スルホキサフル[4C] トリシクラゾール[16.1]	●	●	●									●				●	
粉剤・ 粒剤	エクシード粉剤DL スルホキサフル[4C]	●	●	●														●
	ビームモンカットスタークルF粉剤5DL ジノテフラン[4A] トリシクラゾール[16.1],フルトラニル[7]	●	●	●								●	●					
	フジワンラップ粒剤 エチプロール[2B] イソプロオチラン[6]	●	●			●						●	●	●				
	ワイドナーエース粉剤DL ジノテフラン[4A],テブフェノジド[18],ブプロフェジン[16] フサライド[16.1],フルトラニル[7]	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●				●	

（幾つかの薬剤は記載以外の登録もございます。希釈倍数、使用方法によっては上記の対象病害虫に登録が無いものもございますので、ご使用前には必ず製品ラベルをご確認ください。）

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



NICHINO

日本農薬株式会社

2024年7月作成版 GF02068S